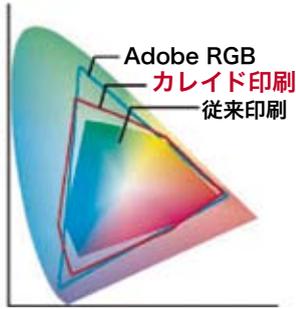


カレイドの特長

RGB画像からCMYK画像に変換すると、色再現領域の違いから、どうしても濁りが生じます。従来のプロセス4色印刷ではRGB画像の広い色領域を再現するために6色・7色で印刷します。しかし、設備やコストなどの制約から4色で印刷しなければならないというのが現状です。このような現状に対して広い色再現を可能とした、東洋インキの【TKハイユニティ SOY】を使用した、カレイド印刷が、従来4色印刷で再現できない色再現を実現し、Adobe RGBに近い色再現領域の再現を可能にしました。

■カレイド印刷



ガモット図 (Yxy平面)

●TKハイユニティ SOYカレイドの特長

- ・黄・紅・藍の鮮明性 (C値) 向上
高鮮明性顔料を用いることにより、従来インキと比較して鮮明性を向上させています。
- ・二次、三次色の発色性向上
C値の向上により、従来のプロセスインキでは実現できなかった色領域の再現が可能となっています。
- ・光沢の向上
高溶解性樹脂の採用による顔料分散性の向上により、大幅な光沢の向上を図っています。

●4色印刷機で6色・7色印刷に近い色再現が可能

カレイドは、色再現領域が広がることにより、4色印刷機で6色・7色印刷の効果を発揮することが可能となりました。

●AdobeRGBイメージに近い最終印刷物を実現

カレイドによる広演色印刷は、モニター上やプリントでのイメージに、限りなく近い最終印刷物を実現します。これにより、クライアントの満足度を向上させることが可能となります。

●FMスクリーン活用で美しい印刷を確保

FMスクリーンとは

FM (Frequency Modulation) 方式は、マイクロドットと呼ばれる網点を、画像に応じて密度を変え、配置して濃淡を表します。そして最大の特長は、約20 μ のマイクロドットを使用することでより細やかで、鮮明な高彩度の印刷を可能にすることです。

さらにAMスクリーンでは防ぐことが出来なかったモアレの発生も、FMスクリーンでは網点の配置がランダムなため、モアレの発生が解消されました。



Q モニタやプリンタのようにきれいに印刷できるの？

Q 6色印刷や7色印刷とはどう違うのか？

Q 画像はRGBのまま渡していいの？

Q どんな仕事に向いているの？

A カレイド印刷ではインキからニゴリを取り除いたため鮮やかな印刷物が仕上がります。

A CMYK4色の広演色インキで印刷します。色再現領域が広がることでRGB画像の色が表現できます。また濃度が高く、光沢が向上します。

A はい、RGB画像そのままがベストです。

A 写真集・カタログ・ポスターなど、RGB画像本来の再現が求められるものに向きます。

●環境対応

溶剤中の芳香族成分が1Vol%未満のアロマフリー溶剤を使用し、かつインキ中の石油系溶剤が30wt%以下で、エコマークver2に対応した大豆油タイプのインキです。



多田印刷株式会社 〒776-0010 徳島県吉野川市鴨島町鴨島657-10

tel.0883-24-2595 fax.0883-24-8252 e-mail info@archills.co.jp URL http://www.archills.co.jp